

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (東北)	◎	衣料品専門店（経営者）	・秋冬物が本格的な時期を迎える。単価も高くなるため売上が期待できる。
	◎	旅行代理店（従業員）	・宿泊の割引が全国に拡大することで、東北のメインである首都圏への旅行需要の急激な回復が見込める。
	○	商店街（代表者）	・新型コロナウイルス感染症の第7波が収束するとみている。
	○	百貨店（経営者）	・秋に向けて新型コロナウイルスの新規感染者数は落ち着いてくると予想している。物価上昇による食料品などへの影響はあるとみているが、再び外出自粛緩和の傾向となり、来客数も増え、衣料品、服飾雑貨などを中心に活発に動くのではないかと期待する。
	○	コンビニ（経営者）	・販売価格の値上げが続いているものの、買上点数はマイナスにはならず、プラスで堅調に推移している。また、休日や夜間の動きが良くなってきて、来客数も増加に転じている。商品の値上げを消化しているのが何よりの強みである。
	○	コンビニ（経営者）	・当面は現状のまま推移し、前年よりも若干良くなるとみている。しかし、新型コロナウイルス感染症の終息時期は不透明であり、先行きに不安が付きまとう。
	○	コンビニ（エリア担当）	・年末に向けて行楽需要、消費拡大の見込みがある。
	○	コンビニ（エリア担当）	・東京で新型コロナウイルスの新規感染者数が減り始めているため、全国でも減り始めることが予想される。
	○	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルス感染症第7波のピークアウトにより、来客数は増加してくると予測している。
	○	衣料品専門店（店長）	・オンラインで行われていた会社の行事、面接等々がスーツを着ながらのリアルなものになりつつある。新型コロナウイルス新規感染者数が減少すれば、出張などの機会が再開し、当業界は潤ってくるとみている。
	○	その他専門店〔白衣・ユニフォーム〕（経営者）	・大分人の流れが戻ってきており、経済活動も活発化してくるとみている。しかし、政府の矛盾した対応には首を傾げる。経済を回すといながら一方で新型コロナウイルスの新規感染者数であるというマッチポンプのようなことをしているようでは、こちらも耐え切れない。いっそのことPCR検査と新規感染者数のニュースをやめるなどの措置を執らないと整合性が取れない。対応いかんで経済の動きは激変するとみている。
	○	その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・新型コロナウイルスの感染状況による不安定要素は多少あるものの、ウィズコロナでの消費マインドは徐々に上向きになってくるとみている。
	○	高級レストラン（支配人）	・全国旅行支援などの消費喚起策があるため、良くなるとみている。
	○	観光型旅館（経営者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数の状況次第だが、今よりは少し良くなるとみている。
	○	観光型旅館（スタッフ）	・ウィズコロナが進むなかで、新型コロナウイルス感染症対策の見直しも行われている。それにより、人の動きも活発化するとみている。
	○	タクシー運転手	・東北地方に限らず、様々な広告媒体を使って秋の催物のPRがされている。4月以降の傾向から、政府からの行動制限が出ない限り、人が動くとみている。実際にタクシー利用客から、秋の旅行を兼ねて家族で出掛けるという話も聞いている。景気は上向き傾向にあるとみている。
○	設計事務所（経営者）	・これまで静観していた客から、事業の再開や修正設計の依頼が入ってきている。待っても価格高騰や資材不足などの状況が変わらないか、むしろもっとひどくなると考え、実行の決断に至った客からの問合せが多く入ってきている。今後は現状価格がある程度受け入れられれば、景気は改善する方向に向かうとみている。	
□	商店街（代表者）	・自主的な行動制限は変わりなく続き、購買意欲は回復しないとみている。	
□	一般小売店〔書籍〕（経営者）	・これといったベストセラーがない状況が続いており、メーカーも新製品の販売を抑制している傾向にある。各地域の客の消費マインドに懸かっている。	

<input type="checkbox"/>	一般小売店 [医薬品] (経営者)	・新型コロナウイルス感染症関連商品の好調はまだしばらく続く。いつまで続くかは不明であるが、まだ売れる要素はあるとみている。感染を気にしないで買物に来る客と、そうでない客の2極化が続くとみている。
<input type="checkbox"/>	一般小売店 [酒] (経営者)	・新型コロナウイルス感染症に対する警戒感は多少なりとも緩くなってきたが、まだまだ消費者の出控え傾向は続くともみられる。
<input type="checkbox"/>	一般小売店 [寝具] (経営者)	・現在の世界情勢、生活環境のなかでは、客の購買意欲が湧いてくる気がしない。しばらくはこの状況が続くとみている。
<input type="checkbox"/>	百貨店 (売場担当)	・購買意欲が高まっている印象を受ける。今後ウィズコロナで外出も増えてくれば、今の傾向が続くとみている。
<input type="checkbox"/>	百貨店 (催事担当)	・ウィズコロナが浸透し、ある程度の消費行動は期待できる一方で、物価の上昇により生活防衛意識が高まり、消費が抑制されることも懸念される。
<input type="checkbox"/>	スーパー (店長)	・いまだに商品の値上がりが続いていて、買いにくい価格の商品が増えている。また、新型コロナウイルスの感染拡大も続いており、来店を自粛する傾向がみられる。この状況は続きそうである。
<input type="checkbox"/>	スーパー (店長)	・現在、売上が悪いながらも横ばいが続いている。これ以上の悪化は考えにくい。
<input type="checkbox"/>	スーパー (企画担当)	・コロナ禍はまだまだ続いている。値上げが続き販売量が下げ傾向にあったが、消費者が慣れてきてまた販売量が元に戻りつつある。食品小売業としてはある程度の水準で推移しそうである。
<input type="checkbox"/>	スーパー (営業担当)	・内食需要は増加傾向にある。しかし、来客数が横ばい、若しくは減少が続けば売上は減少に転ずる。目玉企画など集客対策が重要なポイントになる。
<input type="checkbox"/>	コンビニ (経営者)	・新型コロナウイルス感染症の影響は一段落したとみている。新型コロナウイルスの新規感染者数は増加しているが極端な来客数の変動はない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ (経営者)	・正直何ともいえない。人の動きが活発になり始めている反面、新型コロナウイルスの新規感染者数が増え続けており、店の運営が困難となっている。
<input type="checkbox"/>	コンビニ (経営者)	・新型コロナウイルスの新規感染者数が増加傾向にあるため、人の動きは変わらず、景気は変わらないとみている。
<input type="checkbox"/>	コンビニ (エリア担当)	・燃料価格の上昇に伴う値上げラッシュが続くが、所得の増加は望めない状況で、個人消費は落ち込む可能性がある。景気上昇の要因が見つからない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ (店長)	・ウクライナ情勢もどうなるか分からない状況でガソリン価格も高止まりしているが、そういった状況に慣れてきたという感じが強い。基本的には悪くなく、変わらないとみている。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店 (経営者)	・依然として新型コロナウイルスの新規感染者数は多く、この先も増加することを懸念している。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店 (店長)	・景気は変わらないが、新型コロナウイルス感染症の影響で自粛されていた就活や冠婚葬祭ができるようになったことで、スーツ、フォーマル需要が回復している。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店 (総務担当)	・密を避けられるアウトドア商材の売行きも伸びていない。新型コロナウイルス感染症発生前の水準にはまだまだ戻らず、現状が続くとみている。
<input type="checkbox"/>	家電量販店 (店長)	・季節要因で多少の増減はするが、ガソリンや灯油などの価格が上昇しているなど、消費者マインドを冷やす景気後退局面とみている。買換え需要がある商品に関しては単価を上げる努力はしているが、客の傾向としては節約志向に向かっているとみている。
<input type="checkbox"/>	家電量販店 (従業員)	・新型コロナウイルスの感染拡大が続いており、明らかに来客数が減っている。よって、販売量も低迷が続くことが予想される。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店 (従業員)	・新車の納期がなかなか早くならない上に、個人客の受注も伸びない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店 (従業員)	・2～3か月で長納期が改善されるとは思えない。もろもろの物価も上昇している。景気は現状維持か若干悪くなるとみている。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店 (従業員)	・半導体不足の解消がないと上向くことはない。

<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（店長）	・直近は車両生産や出荷スピードが全く安定せず、営業スタッフのモチベーションにも影響が出ている。納期の比較的早い少数の車種グレードでは商談があるが、その他大多数の車種では客の購買意欲も余り高くない。
<input type="checkbox"/>	住関連専門店（経営者）	・営業活動はある程度できるようになってきていたが、新型コロナウイルス感染症の第7波により受注等の動きが鈍くなっている。受注量の増加は望めない状況である。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔酒〕（経営者）	・国も自治体も、新型コロナウイルス感染症による景況への明確な抜本的対応をしていない。民間でできることは限界を迎えつつある。落ち込んだまま先を見通せない状況が続くのではないかとという不安が大きい。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・燃料油は補助金適用の成果により販売価格の上昇は抑えられているものの、年内は現行販売価格のまま高値で推移するとみている。節約志向が強くなると予想している。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・残暑が厳しい見通しで、灯油の販売量増加も余り見込めないのではないかとみている。
<input type="checkbox"/>	高級レストラン（経営者）	・新型コロナウイルス感染症に皆が慣れるしかないが、そう簡単にはいかないとみている。
<input type="checkbox"/>	高級レストラン（スタッフ）	・新型コロナウイルスの感染状況は一向に良くならないことに加えて、エネルギー価格や物価の上昇もあり、しばらく景気は変わらない。いつまでも先行きは不透明のまま、政府と国民が変わらない限り決して景気は上向かない。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況が依然収束していないことに加え、物価の上昇による買い控えもみられる。スポット的に客が来るタイミングはあるかもしれないが、総じて低調な状態が続くのではないかと予想している。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況次第としか言いようがない。新型コロナウイルスの新規感染者数が増加するにつれ状況は悪くなるため、今後を予想するのは難しい。
<input type="checkbox"/>	観光型ホテル（スタッフ）	・県民割の延長により多少の集客は望める。秋口以降の感染状況によるが、楽観はできない。
<input type="checkbox"/>	観光型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルスの感染状況は落ち着かないとみている。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	・新型コロナウイルスの感染拡大による行動制限がなくなり人の動きが活発になったのは良いが、客から聞く話や身近なところでも新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者が出てきている。行動制限が出ていないため、新型コロナウイルスの新規感染者数が減少に向かう状況になく、少し心配である。
<input type="checkbox"/>	通信会社（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大は続いているが、前年と違い訪問営業に大きな影響は出ていない。しかし、今後大きな加入増加を期待できる材料は乏しい。放送サービスは特番等が増える年末には持ち直しも期待できるが、通信サービスは同業者との競争がますます厳しくなるため、キャリアとの客の奪い合いがしばらく続くことが予想される。
<input type="checkbox"/>	通信会社（営業担当）	・景気が好転する材料に乏しく、良くない状況は継続するものと予測している。
<input type="checkbox"/>	通信会社（営業担当）	・コロナ禍での生活パターンが定着しつつあるが、あらゆるものの価格高騰を賄うほどの経済余力がない。
<input type="checkbox"/>	テーマパーク（職員）	・地元でも新型コロナウイルスの新規感染者数が多くなっている。宿泊客数への影響は以前と比べるとさほどない。しかし、買い控えの傾向は以前よりも強まってきており、来館数が増えても売上には結び付かなくなっている。
<input type="checkbox"/>	観光名所（職員）	・新型コロナウイルスの感染状況に関係なく行動に制限が掛かることはなくなったが、かといって明るい話題があるわけでもない。コロナ禍においては良い状況といえる現在の景気が続くとみている。
<input type="checkbox"/>	遊園地（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着くかどうか、物価上昇が家計にどう響くかによるが、このまま推移するとみている。
<input type="checkbox"/>	美容室（経営者）	・このところのリターン率の変化をみると、前年比マイナスでほぼ横ばいであり、大きく変化する兆候はない。また、賃金ベースアップといった政府の政策も内容がはっきりせず、客の反応も今一つである。当地にはサービス業が多く、賃金の上げ幅も、工場勤務と比べるとかなりの差があるようである。この状況ではなかなか消費に向かわないとみている。

□	美容室（経営者）	・客の年齢層が決まっており、新規客の獲得は難しい。また、物価高が続いているため、客も価格に敏感になっているようである。
□	住宅販売会社（経営者）	・短工期工法で価格が明確な建売を推進する。
□	その他住宅〔リフォーム〕（従業員）	・住宅設備機器は、給湯器の納品遅れ状態が長期化すると予想している。リフォームも資材、商品の納品状況が工事に影響している。工事待ちの状態が続いている。
□	その他住宅〔住宅展示場運営会社〕（従業員）	・集客イベントの実施が難しいため、来場者数が前年よりも少ない状況が続くとみている。
▲	商店街（代表者）	・景況は新型コロナウイルスの新規感染者数に連動している。景気回復には時間を要する。
▲	商店街（代表者）	・夏祭り、お盆が終わった後に新型コロナウイルスの新規感染者数が増加している。
▲	一般小売店〔酒〕（経営者）	・祭りやお盆が終わって来客数が減ってきている。
▲	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・現在の我が国は国葬や政治家と宗教団体の問題、新型コロナウイルスの新規感染者数が高止まっている状況から、生活を静かに楽しむという雰囲気は全くなくなってきている。そのせいで個人消費も減少の傾向になっていくのではないかとみている。
▲	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・取り扱う商材が医薬品であるため、新型コロナウイルスの感染拡大による一時的な売上アップがあったと考えている。この要素がなくなれば、景気の実態を反映して悪化することになる。また、ウクライナ情勢が長期化することにより、エネルギーや食料の価格上昇が固定化され、消費意欲は低下する。
▲	スーパー（経営者）	・多くの商品が値上げされている。秋にかけて更に値上げされることになれば、買上点数が更に下がったり、安い商品を求めて客がドラッグストア等に流れたりすることが予想される。
▲	スーパー（店長）	・値上げラッシュはまだ続くと予測している。客の節約志向は更に高まるとみており、ディスカウントストアへの客の流動を懸念している。
▲	スーパー（営業担当）	・値上げは続く。新型コロナウイルス感染症対策の見直しで経済状況が活性化されてくるのかは不透明である。夏場の天候が地場産業にマイナスに作用しないか不安である。
▲	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数がかかり減らなければ、景気は横ばいしないし下がってくるとみている。ワクチン接種をしても感染する人はするため怖がっている人はまだまだ多く、外出を控える人は多いとみている。
▲	コンビニ（エリア担当）	・物価の上昇が続くとみている。
▲	コンビニ（店長）	・値上げが各分野で続くなか、先行き不安が募り、節約意識が高くなるのではないかとみている。
▲	衣料品専門店（店長）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いてくれば、旅行、買物へと動く消費者が増えることに期待が持てる。しかし、インフレによる物価高により消費に慎重な人も増えてきている。
▲	家電量販店（店長）	・良くなる兆しがみえない。
▲	乗用車販売店（従業員）	・市場環境がこのまま変わらなければ、今現在の受注残での売上見込みが減少しているため、景気は良くならない。
▲	自動車備品販売店（経営者）	・8月の豪雨による農作物被害で、地域の主力である米、枝豆等々の収穫に影響し、収入が減ることが予想される。
▲	住関連専門店（経営者）	・年末が近づき大売出しなどが至る所で企画されるが、昨今はポイントが流行しており、キャッシュレスやポイントを取り扱わない小規模な当店は苦戦を強いられる。
▲	その他専門店〔靴〕（従業員）	・新型コロナウイルスの新規感染者数の増加による来客数の大幅な減少は、この先も続くとみている。また、値上げラッシュで財布のひもは固くなるのが考えられる。特に東北地方は冬季の灯油代が家計に占める割合が高いため、生活必需品以外への支出が減ることが予想される。
▲	一般レストラン（経営者）	・物価が上昇し、油関係など材料の仕入価格が上がっている。来客数も減少している。同業他社も同じ状況である。景気が良くなる要素は何もない。

	▲	旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルス感染症第7波の影響により、個人旅行及び団体旅行の新規予約が鈍化傾向にある。また、当事者が感染者又は濃厚接触者になってしまったことによるキャンセルも発生していることから、新型コロナウイルスの新規感染者数が減少傾向にならない限り、売上アップには至らない。旅行・観光業界における景気は悪化傾向にある。
	▲	旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルスの感染が拡大しており、延期や中止が増えている。
	▲	通信会社（営業担当）	・10月1日に過熱式たばこを始め様々なものの値上げが予定されており、以降も続くことが予想される。また、天候が不安定であるため、9～10月の豪雨被害等も心配される。
	▲	通信会社（営業担当）	・一部の企業や行政においては、物価上昇の補填として給与補助あるいは支援金給付を行っているが、全体的な収入の底上げにはならない。今後は消費の伸びが低迷し景気は少しずつ悪くなる方向に向かう。
	▲	通信会社（営業担当）	・ますます物価が上がるのが予想される。
	▲	競艇場（職員）	・毎年、この時期は売上が落ちる傾向にある。イベント等で来場促進に力を入れてもリピーターにならず、それきりの来場で終わってしまう。
	▲	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・しばらくは、回復しないのではないかとみている。
	×	商店街（代表者）	・予約状況は完全に白紙状態である。新型コロナウイルスの新規感染者数が急速に収束するような状況でもないため、先行きはかなり悪くなる。
	×	スーパー（経営者）	・10月にはまた一斉値上げがあるため、買い控えが強まり、消費の厳しさは更に増すとみている。身近に明るい話題が聞こえてこない。各自治体や政府は消費喚起策のプレミアム付商品券発行やマイナポイント付与等を打ち出しているが、利用の仕方が分からない人も多く、利用は限定的とみられる。10月からは最低賃金も上がるが、それ以上の率で支出・負担増があるため、消費はまだ低迷するとみている。
	×	スーパー（経営者）	・可処分所得が伸びないなか、秋冬にかけて更なる値上げが予定されている。消費者は節約志向、儉約志向にならざるを得ない状況である。
	×	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数は徐々に減ってきている。それが来客数の増加にはなかなか結び付かないため、厳しくなるとみている。
	×	その他専門店〔食品〕（経営者）	・秋には更なる物価高が予想される。
	×	一般レストラン（経営者）	・会社や学校には行かなければならないため、新型コロナウイルスに感染するリスクの高いエリアへの移動が減ることが考えられ、その影響を受けやすい業種にとっては最悪の景気が続くともみている。気にせず行動しても大丈夫とはっきり言ってもらえないと負の連鎖は田舎ほど継続、若しくは増大する。
企業 動向 関連 (東北)	◎	*	*
	○	農林水産業（従業者）	・8月販売のものの精算書はJAからまだ届いていないが、天候が非常に良く品質も良くなったため、7月同様販売単価に期待が持てる。
	○	食料品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数は依然落ち着かないが、人の動きは良くなってくるとみている。売上の回復は期待できるが、原価高騰で収益が心配である。
	○	食料品製造業（製造担当）	・新型コロナウイルスの新規感染者数の増加による自粛はあっても人流が大きく落ちることがないため、売上は右肩上がりが見られる。ただし、あらゆる物が値上がりしているため、商品設計や価格設定等、収益構造の見直しを迫られる。
	○	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・新型コロナウイルス感染症の第7波以降も行動制限がないことを期待している。
	○	金属製品製造業（経営者）	・更に増産の情報が出ている。
	○	建設業（従業員）	・受注案件は相応にあるため、天候等の影響で進捗が遅れなければ良くなる。
	○	建設業（従業員）	・年末に向けて官民で比較的大型の工事契約が進む見通しもあり、景気は若干上向く可能性がある。

○	司法書士	・登記所における不動産登記申請件数は前年並みである。しかし、建売住宅販売会社の土地購入に、これまで以上の積極性がみられるようになってきている。
○	公認会計士	・新型コロナウイルスの新規感染者数が高止まりの状況であるが、政府や自治体が行動制限を掛けなければ、小売、サービス業関係は売上、利益共に改善傾向が続くとみている。飲食関係はよくて現状維持、建設業や製造業は売上、利益が増加傾向なので、全体として景気が良くなるとみている。
○	その他非製造業〔飲食料 品卸売業〕（経営者）	・円安や燃料価格の高騰などの悪条件があるなかで、商品の値上げが続いている。生活者はよく計算して購買しており、高い物はなかなか売れず、安い物や必需品が動いている。
○	その他非製造業〔飲食料 品卸売業〕（経営者）	・感染拡大がピークアウトし、人の移動に対しての心理的な障害が下がり、社内の移動に関するルールも引き下げられるとみている。
○	その他企業〔企画業〕 （経営者）	・7～8月は新型コロナウイルスの新規感染者数の増加による温泉街への人出の影響は少なかった。これがロコミで広がり、秋もある程度の人出は確保できると考えている。加えて宿泊施設での感染対策の評価も後押しするとみている。
□	食料品製造業（営業担 当）	・好転する要素が見当たらない。今後も販売不振が続くとともに、原材料等の値上げの影響で利益確保が難しくなってくる。
□	出版・印刷・同関連産業 （経営者）	・業種的に新たな事業転換を図らなければならない時期に来ている。新型コロナウイルス感染症を理由とした業況の停滞に話をすり替えている現状を打破しない限り、将来の景気、事業の回復にも明るさがみえてこない。
□	窯業・土石製品製造業 （役員）	・特需や大型プロジェクトがなく、官需、民需共に低調である。資材や燃料等の高騰が続いており、価格の値上げを打ち出しているが、経営環境は厳しい。
□	一般機械器具製造業（経 営者）	・客先での増産や新規設備の話題は増えつつあるが、なかなか発注には至らない。材料価格は高止まりしている。構造部品や制御部品の入手もまだ困難な状況が続いている。
□	一般機械器具製造業（経 営者）	・半導体部品不足が解消されず、生産調整が今後も続くともみている。
□	電気機械器具製造業（企 画担当）	・新型コロナウイルス感染症による影響が落ち着くのを待つ時期になるとみている。
□	輸送業（経営者）	・8月になって人流が増えたせいも、新型コロナウイルスの新規感染者数が更に拡大している。ドライバーの感染も増え、一部において仕事の受注にも影響が出ている。加えて燃油費が高止まりしているなか、トラックメーカーのエンジンに関する不正により新車代替がタイトになっており、その影響もあり新車も中古車も高騰している。さらに、タイヤも10%以上の値上げがあり、業界の状況は非常に厳しい。
□	通信業（営業担当）	・客との良好な関係を築いていけるよう努力を続けていく。
□	通信業（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大や物価上昇の影響が大きく、契約に消極的になっている取引先が多い。
□	金融業（広報担当）	・地域によっては大雨被害の影響を引きずることになるが、その他の外的要因に問題がなければ、コロナ禍にあっても個人の消費意欲は旺盛な水準が継続するものと見込まれる。また、二次産業においても製造ペースは変わらず高水準を維持するものと予想している。
□	広告業協会（役員）	・新型コロナウイルスの感染拡大による行動制限が行われていないため、秋の行楽シーズンに向けた旅行や観光系の広告出稿に期待している。
□	広告代理店（経営者）	・新型コロナウイルス感染症、原油、電力不安、戦争の長期化など、不透明な要素が山積している。
□	その他企業〔協同組合〕 （職員）	・受注量、受注金額等に特段の変化は見受けられない。
▲	輸送用機械器具製造業 （経営者）	・各事業それぞれで取引先各社の動きが鈍化している。先々の情報も良い話は少ない。次期案件の減少など、先が見えてこない状況である。
▲	経営コンサルタント	・ゼロゼロ融資の返済が迫るなか、資金繰りに余裕のない企業に業容立て直しのために残された時間は少ない。

	▲	コピーサービス業（従業員）	・価格変更のタイミングを計っているメーカー及び卸会社がいつ値上げに踏み切るかが気掛かりである。現在来年度のカタログを発注している段階だが、ほとんどのメーカーが5～10%程度値上げするようである。値上げ前の駆け込み受注を期待したいが、新型コロナウイルス感染症の影響で先行きが不透明であるため、客先も慎重である。
	×	農林水産業（従業者）	・肥料価格はこれまでにないレベルで高騰している。さらに、秋の収穫期の穀物乾燥機用灯油価格が引き続き高騰すると予想される。
雇用 関連 (東北)	◎	人材派遣会社（社員）	・求人数、求職者数共に拡大傾向にある。
	○	新聞社〔求人広告〕（経営者）	・求人広告を始め、客に積極的な動きが出てきている。海外からの旅行者受入れが進み、国内旅行も刺激策が出されれば、かなり良くなるとみている。物価やエネルギー価格の上昇が回復の足を引っ張ったとしても、回復傾向は変わらないとみている。
	○	新聞社〔求人広告〕（経営者）	・新型コロナウイルス感染症は第5類的な感覚で市民に浸透しており、新型コロナウイルス感染症への抵抗感が薄れてきている。
	○	民間職業紹介機関（職員）	・例年、秋口から人手が欲しいという問合せが入ることが多い。
	□	人材派遣会社（経営者）	・製造業や飲食業などでは、資材や原料の価格高騰、あるいは燃料費の高騰による厳しい経営環境は続くともみている。引き続き採用活動は行うものの、先行き不透明なので、パワーやコストをしっかりと掛けて行う企業は少ないようである。
	□	人材派遣会社（社員）	・政府の新型コロナウイルス感染症対策が今一つはっきりしない。新型コロナウイルスの新規感染者数は増加傾向にある。
	□	人材派遣会社（社員）	・インフレ抑制のための米国の利上げ、行き過ぎの円安など、恩恵のある業界とそうでない業界があり、景気回復にはつながらない。新型コロナウイルスの新規感染者数も依然高止まりしており、今後が見通しにくい。
	□	職業安定所（職員）	・受注が順調で人手不足を訴える求人事業所は相変わらず多い状況だが、燃料・電気・資材等の価格高騰に加え、10月の最低賃金改定や社会保険改定による会社負担増が足かせとなり、設備投資や新規事業が減少する可能性がある。景況感是不変わらないとみている。
	□	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの新規感染者数は落ち着くとみている。これから秋の行楽シーズンを迎えプラス材料はあるものの、物価上昇に歯止めが掛からないため、景気は横ばいが続くともみている。
	□	職業安定所（職員）	・求人数が求職者数を上回っている状態が続いているものの、燃料の価格高騰や物価高などが事業者や求職者に影響を与えることも想定され、状況を注視する必要がある。
	□	学校〔専門学校〕	・新型コロナウイルス感染症の影響で自粛していた経済活動が回復する一方、給与据置きでインフレが継続し、出費を控える傾向になるとみている。
	□	その他雇用の動向を把握できる者	・企業の採用意欲は高く、定着のため従業員の処遇改善を図る動きもある。この傾向は継続していくとみられる。
	▲	アウトソーシング企業（経営者）	・コロナ慣れたためか、会議開催回数に回復がみられない。
	▲	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・県内の新型コロナウイルスの新規感染者数の高止まりや物価高による経済活動への影響が懸念される。
	×	—	—